

MONO REPORT

ものづくり企業の可能性がもっと広がる

ものづくり補助事業
成果事例集 [徳島県]

徳島県中小企業団体中央会



はじめに

徳島県中小企業団体中央会では、中小企業庁の委託を受け、平成24年度から「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」の徳島県地域事務局として、徳島県内の中小企業が取り組む試作品・新サービス開発、設備投資等を支援してきました。

平成24年度から令和3年度までの10年間で徳島県内の約379社が「ものづくり補助金」を活用した施策開発や設備投資による事業化を進めており、県内産業の活性化・競争力の強化につながっています。

本事例集は、これまでに「ものづくり補助金」を活用して事業化を進められた企業の中から8件の事業成果と今後の事業展開等について取りまとめました。

本事例集が、今後新たに試作開発や販路開拓にチャレンジしようとしている中小企業の方々のご参考になりましたら幸いです。

最後になりましたが、本事例集作成においてご多忙のところ多大なるご協力、ご便宜を賜りました皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和5年2月

徳島県中小企業団体中央会

CONTENTS (50音順)

事例紹介

1	株式会社アクト	汚染排水処理用凝集剤「水夢」の量産体制確立および作業環境改善	3
2	うみの株式会社	種苗メーカーによる日本牡蠣産業の競争力強化と持続的サプライチェーンの構築	5
3	有限会社オハラ	ブランド力強化のための自動選別機と小ロット対応のネルドリップコーヒー包装機	7
4	株式会社絹や	天然藍の高効率色素生成及び色素抽出技術の高度化	9
5	ダイカテック株式会社	絶縁材料中の微小弱磁性金属除去自動装置の開発 画像処理装置を組み込んだ樹脂ペレット用磁力選別装置の開発	11
6	南海熱学工業株式会社	鋼板切断工程の生産性向上を通じたダクト製造分野での競争力強化計画	13
7	富士製紙企業組合	抄紙中の紙の厚さムラ(変動)の改善のための原料濃度の安定化装置の設置事業	15
8	株式会社渡辺鉄工所	鉄骨・鉄鋼材の高性能機械導入による加工速度の改善と作業簡素化の実現	17



事業の概要

19



天然鉱物から生まれた「水夢」 セシウム低減率92.6%!農林水産省認定No.1の実力!

かつて人が集い、子どもたちが遊んだふるさとの清らかな川。
あの頃の自然を取り戻したいそんな思いで、
環境先進国ドイツに学び、排水処理材「水夢」は生まれた。
高い能力を持ち「自然の土」に近く生態系にやさしい、
「水夢」で福島のため池を、日本中の水環境を、きれいにしたい。



汚染排水処理用凝集剤「水夢」の量産体制確立 および作業環境改善

1. 取り組みの経緯

「水夢」は自然の水にも工場廃液にも幅広く簡単に使える水処理剤。天然鉱物が主成分で無機系だから生態系にやさしいという優位性を持つ。セシウム低減率は農林水産省認定5社の中で抜きん出て高く92.6%!同省の「ため池の放射性物質対策技術マニュアル」に「水夢」の商品名と施工法とが明記され、ため池汚染処理工事に採用されたため、量産体制の確立が急がれた。

2. 実施内容

研究・実証実験を重ねてきたため財務内容が悪化し設備投資ができておらず、工程のほとんどが手動のままであった。また、粉体を扱う作業員のための粉塵対策も急務であったことから、新設備導入により工程の自動化と量産体制の確立、製造環境の改善を計画。工程を2層に分け、1階に粉体計量機と紙袋吸着持ち上げ機を、2階には原料移送・投入のための玄米キャッチャーを導入した。

3. 取り組みの成果

工程を2層構造のクローズドにし、3種類の機器の導入により相当な部分を自動化。25kgの原料袋の持ち上げや移送・投入、製品の袋詰めなど、重いものの扱いが機械化されたことで作業員の負担軽減と効率化が実現した。粉塵の発生は工程全体で70%カットでき、防塵マスクなしで作業できるほどに改善。生産能力は約2倍となり、今後増える予定の受注に応えるための大きな前進である。



▲玄米キャッチャー(2階)で原料25kgを持ち上げ、次の工程へ



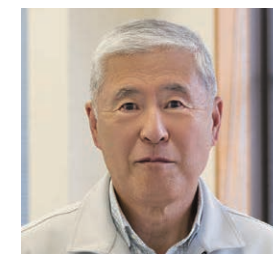
▲粉体計量器(1階)が原料の投入・混合・計量を自動で行う



▲真空ポンプで吸着と持ち上げをこなすランサー設備(1階)

事業者から一言 美しい地球を未来へ

福島において、雨や雪で農業用のため池に流れ込む放射性物質除去に「水夢」の力が必要とされています。向こう10年間の除染事業に安定供給するため、生産性アップと作業員の健康のための環境が整ったことは心強いです。美しい地球を未来へ渡すため、世界を視野にまだまだチャレンジを続けます。



代表取締役
尾北 俊博氏

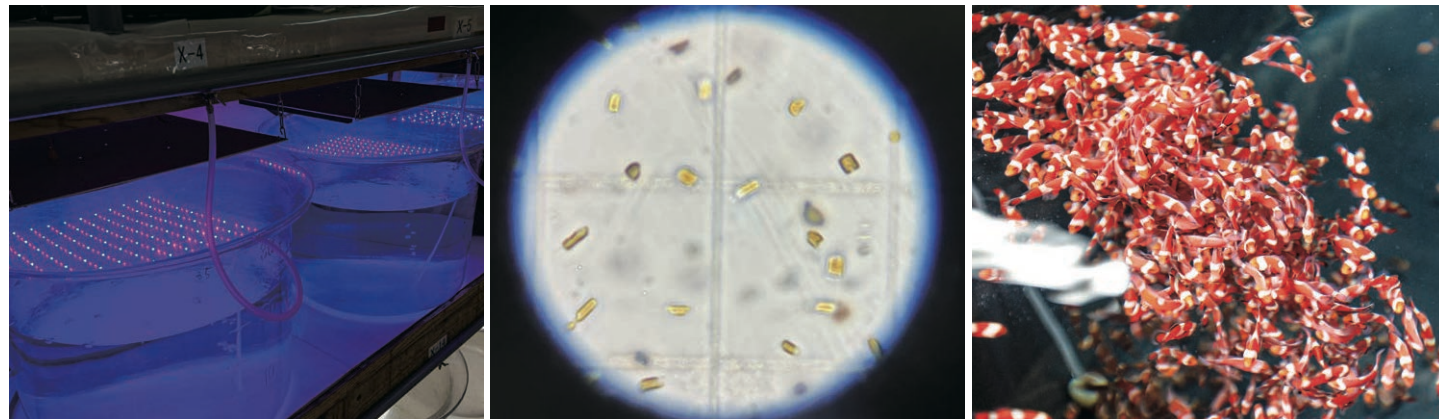
株式会社アクト

- 〒779-3401 徳島県吉野川市鴨島町上下島66番地3
- Tel.0883-24-8887 Fax.0883-24-9278
- 代表取締役 尾北 俊博
- 設立年月日 昭和58年10月8日
- 資本金 1,200万円
- 業種 その他の製造業
- 従業員数 7名
- ホームページ <https://act-yume.jp/>



日本の水産業を進化させ、次世代へつなぐ 海とヒトを科学で豊かにするために

海洋生物研究所を前身に、山に抱かれた美しい入江に佇む。
二枚貝種苗(稚貝)の生産をコア事業として、熱帯魚販売や
水生生物・海洋環境に関する研究開発の受託サービスを手がける。
マガキの三倍体化を安定的に実用化し、種苗供給は民間国内初。
養殖業者を支え、牡蠣産業を元気にするための仕組みづくりに挑む。



種苗メーカーによる日本牡蠣産業の競争力強化と 持続的サプライチェーンの構築

1. 取り組みの経緯

主力事業であったアコヤガイ養殖施設の稼働率アップのために、夏でもおいしい三倍体マガキの種苗生産に取り組み、水産庁による特性評価のもとに国内各地の漁場に供給していた。しかしコロナ禍以降、販売先である養殖業者が人員確保・販路開拓に困難をきたしていたことから、種苗のさらなる普及を図るとともに、自社で牡蠣を買取り一般消費者に販売する仕組みの構築をめざした。



▲二枚貝には欠かせない良質な餌料プランクトンの陸上培養施設

2. 実施内容

新たな漁場での養殖開始に際して特性評価の認定取得をサポートするとともに、本事業で導入したプロイディアライザーで養殖海域の野生個体の染色体評価を行った。また、生産者から買い取った可食サイズの殻付き生牡蠣を自社ECサイトなどで販売するために、流水殺菌装置・牡蠣専用サイズ選別機・牡蠣高圧洗浄機・製氷機などのインフラを整備。ノロウイルス不活化処理にも取り組んだ。



▲UV-LED流水殺菌装置が出荷の際の浄化処理の低コスト化を実現

3. 取り組みの成果

三倍体マガキが養殖海域の生態系を汚染しないことが確認でき、生産者増、稚貝供給量増につながった。生産者負担の低減と収益性の確保をめざし、買い取り補償制度を試験的に導入。機器の導入により作業量が半減し、効率的な出荷システムが整った。自社ECサイトでは、顧客が仕入れ先となる優位性を生かし、複数産地のセット販売や生産者紹介を行い、高い品質と安全性を訴求していく。



▲出荷前の牡蠣を連続的に省力で選別する専用サイズ選別機

事業者から一言 牡蠣を手始めに水産業を盛り上げたい

この事業で「徳島ニュービジネス支援大賞2022」をいただきました。新しい仕組みをつくることで、生産者も消費者も種屋もみんながwinwinになればいい。まずは殻付き生牡蠣の美味しさを広く伝え、かつては世界一だった日本の水産業を再び盛り上げたいです。次は稚貝の無料提供を考えています。



代表取締役
中村 智治氏

うみの株式会社

〒779-2307
徳島県海部郡美波町山河内字外ノ牟井1-6
Tel.0884-77-1117 Fax.0884-77-1119
●代表取締役 中村 智治
●設立年月日 平成22年10月1日
●資本金 5,000万円
●業種 水産養殖業
●従業員数 19名
●ホームページ <https://umi-no.jp/>



培ってきたブランド力をさらに進化させて LIVE COFFEという新たな楽しみの提案を!

世界の産地へ経営者自ら足を運び、五感で確かめる。
信頼できる農園から選び抜いて買い付けた豆を
焙煎・抽出にもこだわり抜いて、創りあげたブランド。
もっともっとコーヒーを楽しんでほしいから上質を極め続け、
さらに美味しく香り高いLIVE COFFEを届けたい。



ブランド力強化のための自動選別機と 小ロット対応のネルドリップコーヒー包装機

1. 取り組みの経緯

近年、安く美味しいコーヒーがコンビニでいつでもすぐに手に入るようになり、コーヒー消費は普通の日常に定着してきた。一方で大手コーヒーチェーンの進出により、店舗間の競争も激しくなっている。その上にコロナ禍がテイクアウト需要の高まりを生んでいた。こうした状況を踏まえ、他との差別化を図り、新しい消費動向に対応するため、品質向上とオリジナル商品の強化をめざした。



▲創業来、ネルドリップにこだわり続けて

2. 実施内容

目視で効率が悪かったピッキング工程を自動化することで、生豆の完璧な選別が実現した。また、創業来のこだわりであるネル方式の円錐形フィルターを開発し、焙煎後すぐにパックできるような包装機を導入。鮮度高く美味しいオリジナルドリップコーヒーパックが誕生した。モバイルオーダー・キャッシュレス・パーキングドライブスルーシステム構築により、テイクアウト需要にも応えていく。



▲シュート式コーヒー豆自動光選別機

3. 取り組みの成果

包装機を自社に備えることで、鮮度の良さに加え、小ロット多品種展開が可能となり、商品価値を高めることができた。ネル式円錐形フィルターのドリップパックは、その美味しさが認知されてきており、確実にオーダーが増えている。今後、さらに小さなロットでオリジナルデザインにも対応する設備を導入予定であり、お客様の毎日にもっともっとコーヒーの楽しみを広げていく。



▲ドリップコーヒーパック包装機

事業者から一言 美味しいコーヒーいっしょに作ろう!

クオリティの高いコーヒーパックの次は、プラスαの魅力の創出として、山城店での「LIVE COFFEE」を考えています。お好みの生豆をその場で焙煎して味わっていただいたり、お持ち帰りいただいたり。焙煎機から上がる湯気、引き立ての香り、味、コーヒーの魅力を生きて楽しんでいただきたいです。



代表取締役社長
小原 健亮氏

有限会社オハラ

〒770-8054
徳島県徳島市山城西1-7
Tel.088-655-8877 Fax.088-655-9987
●代表取締役社長 小原 健亮
●設立年月日 平成1年5月
●資本金 1,000万円
●業種 飲食業
●従業員数 26名
●ホームページ <https://coffee-w.com/>



藍の色素を活用して、布から異素材へ 藍の可能性をもっともっと広げたい

呉服の老舗が100年余の伝統の中で培った染色技術を生かし、高品質の藍染革製品を生み出した。自社製品開発の傍ら、様々な業種のメーカーに、顔料として藍色素を提供。エシカルでエコロジーでロハスな藍の魅力をもっと広げるために、効率のよい生成・抽出技術の確立をめざす。



天然藍の高効率色素生成及び色素抽出技術の高度化

1. 取り組みの経緯

伝統的な藍天然染色の技術を用いた天然皮革染色に成功し、オンラインの藍染皮革製品として皮革市場に販路を拡大している中、近年のジャパンプルーとしての価値の向上や、天然色素としての藍の人気の高まりにより、それを発展させるため、藍作から藍の顔料製造まで自社で手がけ、藍色素の開発に取り組んだ。色素抽出では様々な試行錯誤を経て、近年は異業種への顔料提供や、異素材への染色技術開発がすすんでおり、より高効率な色素抽出技術に挑み続けている。



▲自社の畑で藍を育てる

2. 実施内容

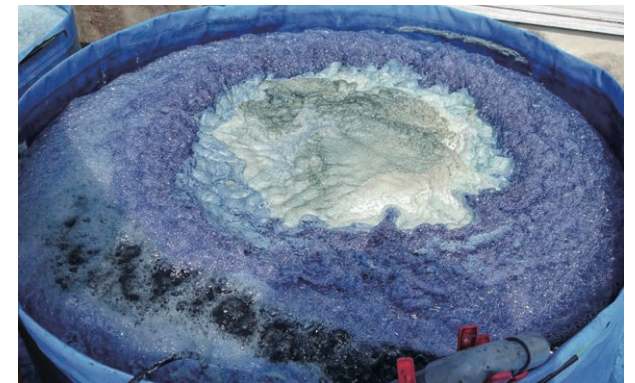
藍の色素の抽出の高効率化に向けて、徳島県立農林水産総合技術支援センター・徳島県立工業技術センターの協力のもと、数年前から実験を続けている。その流れの中でいただいた本補助金では、●オゾン技術によるインディゴ生成●生分解性の高い天然の素材による凝縮●遠心分離機にかけて色素を分離する実験を行った。



▲遠心分離機で色素抽出実験

3. 取り組みの成果

本事業は技術・研究開発事業で、藍色素抽出における研究で遠心分離機を活用しての抽出ではメッシュ調整の課題を残したが、添加物を用いずに色素生成に成功し成果が得られた。その他の高度化した様々な技術を活用し、高効率な色素抽出に挑戦しており、本技術をもとに高効率色素抽出の技術を確立している。現在は金属加工のメーカーなどとの取引があり、今度は更に様々な加工メーカーに色素を提供し、幅広い産業への波及が見込める。



▲エアレーションで色素生成

事業者から一言 藍色素の可能性を夢見て

藍色の革でできた甲冑の肩飾りに触発され、布だけでなく日常的に使える高品質の藍染製品があればと、3年がかりで革の藍染技術を開発しました。以来試行錯誤です。技術開発は一足飛びには行きませんが、ノウハウを積み重ねながらステップアップし、藍の可能性を広げていきたいです。



代表取締役
山田 明弘氏

株式会社絹や

〒770-0831
徳島県徳島市寺島本町西2丁目35番1
Tel.088-622-1745 Fax.088-622-0141
●代表取締役 山田 明弘
●設立年月日 昭和44年8月22日
●資本金 1,000万円
●業種 繊維製品製造販売
●従業員数 6名
●ホームページ <https://www.wa-kinuya.com/>



粉体特性を熟知した金属異物除去装置メーカー ニーズに丁寧に向き合い、オンリーワンをつくる

食品工場では人体に影響を及ぼす恐れのある金属異物を。
半導体や二次電池などの絶縁体においては導電性金属を。
品質と生産性を大きく損なう原因となる異物を
強力な磁石を組み込んだ除鉄装置で取り除き
この徳島の地から、日本の屋台骨産業の品質を支え続ける。



絶縁材料中の微小弱磁性金属除去自動装置の開発 画像処理装置を組み込んだ樹脂ペレット用磁力選別装置の開発

1. 取り組みの経緯

半導体の絶縁材料に混入する微小金属を除去し、自動回収できるオンリーワンの除鉄装置を開発。特許取得していたものが海外でコピーされてしまうという苦い経験から、コピーできない新方式による装置の開発をめざした。また車載用電装設備のコネクター用樹脂材料(ペレット)について、形状不良の検知・排出精度向上のために、自社の磁力選別機と組み合わせた新装置の開発に挑んだ。



▲粉体や顆粒中の異物を除去する超高磁力棒マグネット除鉄装置

2. 実施内容

除鉄装置についてはその機構を空気移動方式からリニアモーターカーのシャフトと同じ電磁移動新方式に変更し、最強の磁束密度を有する棒磁石を組み込んだ。棒磁石を移動させる推力を得るためのコイルは3通りを試作・検証し、巻き数や径を決定した。ペレット選別では、電磁フィーダーと画像処理形状選別装置を導入、形状選別検査機能をアタッチメントとして付加する装置がカタチとなった。



▲業界初となる形状選別と磁力選別の複合機

3. 取り組みの成果

電磁移動式機構の確立と装置全体の簡素化を実現。マグネット棒1本ごと交換からユニットごとの取り外し方式とし、従来機で課題であった分解・洗浄時の作業性が大幅に向上した。立ち会い試験で既納入先の入れ替え需要を喚起し、売り上げ増につなげたい。ペレット選別機は性能試験を経て特許出願予定。複合機は業界初であり、新規顧客と自社既存機への装着に高いニーズが見込める。



▲液体や粘性原料の製造ライン用除鉄装置

事業者から一言 異物処理のエキスパートとして

社会のニーズがあるところに我々のチャンスがあり、そのニーズに向き合うことでお客様に学び、成長させていただいてきました。取引先の大手企業の品質を支えることで、日本の産業を下支えしていると自負しています。今後はアイデアと技術と経験でリサイクル分野にもコミットしていきたいです。



代表取締役社長
大西 賢治氏

ダイカテック株式会社

〒771-0139
徳島県徳島市川内町米津9-1
Tel.088-666-0011 Fax.088-666-0220
●代表取締役社長 大西 賢治
●設立年月日 平成14年12月2日
●資本金 300万円
●業種 生産用機械器具製造業
●従業員数 11名
●ホームページ <http://www.e-daika.co.jp>



空調ダクトと冷媒配管、一貫提供を強みに 心地よい空気で建物に命を吹き込み続ける

二人の技術者が共同創業して以来、まもなく半世紀。

空調ダクト製造・取付と冷媒配管工事を一貫して提供できる

徳島県内唯一の事業者として、高い評価と安定受注を得てきた。

強みである技術力を礎に、常に進化しながら

環境の世紀の時代のニーズに応え続ける。



鋼板切断工程の生産性向上を通じた ダクト製造分野での競争力強化計画

1. 取り組みの経緯

数年前からIT化を推進し、情報共有やスケジュール管理により、効率的な人員配置と作業の無駄削減を実現。生産性のアップを図っていた。一方で、老朽化した公共建築物の建て替えや改修工事での受注が増え、建築業界の事情も相まって量産化・納期短縮の要請がますます強くなってきたことから、ダクト製造における競争力強化のために量産体制の構築とさらなる工期短縮が必要であった。



▲鋼板切断のスピードアップ、厚板対応も可能に

2. 実施内容

鋼板切断工程のためのデータ入力作業が効率化のボトルネックとなっていたことが判明していたので、この工程の生産性を上げるべく、本補助事業によりCAD/CAMデータ変換機能をもつ国際電業株式会社製プラズマ切断機+制御盤 KPC-3504を導入。煩雑でミスが避けられない上、メインとサブ2名が必要なデータ入力工程をなくし、切断工程の省力化とスピードアップをめざした。



▲ケガキ機能によりハゼ成形の作業時間が短縮

3. 取り組みの成果

入力のための時間と発生していた10%程度の入力ミスがゼロになり、鋼板切断に要する時間を28%短縮。ケガキ機能により次工程であるハゼ成形の作業時間の短縮も実現した。これまで外注していた1.7mmを超える厚板切断も内製できる体制が構築でき、納期待ちの無駄を解消。また、入力作業に従事していた人員を他業務に配置転換することで、会社全体の生産性アップも図れた。



▲CAD/CAM変換機能でPC入力不要に

事業者から一言 環境づくりで人づくりを

本補助事業により加工技術の高度化と生産効率アップが実現しました。外に対しては完全内製化と短納期体制をアピールすることで売上拡大を図り、内ではIT化・設備の高度化をてこに働く環境を整え、次世代を育てていきます。この仕事は風の道をつくる仕事。女性が活躍できる会社にしていきたいです。



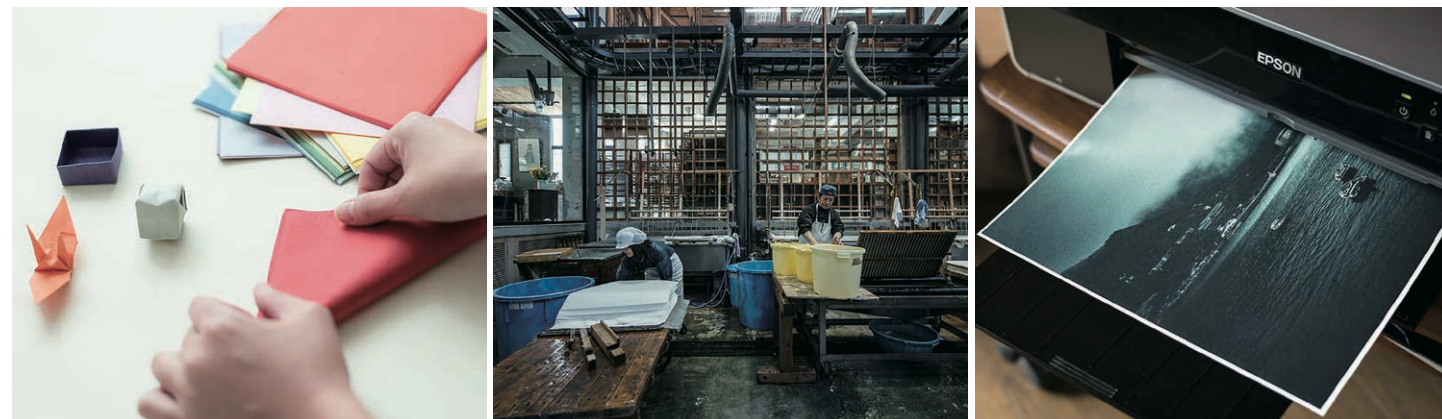
代表取締役
木根 直美氏

南海熱学工業株式会社

- 〒779-0312
- 徳島県鳴門市大麻町東馬詰字寅開61-1
- Tel.088-677-7766 Fax.088-677-7760
- 代表取締役 木根 直美
- 設立年月日 昭和52年12月19日
- 資本金 3,000万円
- 業種 設備工事業
- 従業員数 29名
- ホームページ <http://nankai.sakura.ne.jp/>

「伝統」という世界から解き放ち 新しい素材として、和紙を現代に、未来に

麻や楮を植え、布を織り紙を漉き、かつて麻植と呼ばれた地で、今に受け継いできた1300年の阿波和紙の伝統。
ただ守ること、継承することだけでなく、時代の求めに呼応しながら、技法や用途の多様化に取り組み、和紙の可能性を広げていく。新しい素材の作り手として。



抄紙中の紙の厚さムラ(変動)の改善のための 原料濃度の安定化装置の設置事業

1. 取り組みの経緯

和紙の用途や販路が多様化する中で、価格よりも品質重視の取り引きが増えており、従来和紙業界では問題とならなかった品質項目がクレーム化してきていた。例えば、繊維から出るゴミや繊維の長短、色目の変化などの天然物由来の現象や、ロットによる厚薄、インクのしみ具合、紙の水分率に起因するカールなど、納品後の次の工程に影響を及ぼす項目について、解決が求められていた。



▲抄いた紙を連続的に絞り乾かし巻き取っていく、抄紙機

2. 実施内容

原料貯留槽内の水位が一定量以下に低下すると攪拌による回流が停滞し、濃度が均一にならず、抄紙機での紙の厚薄が発生していた。また、原料貯留槽内部がタイルであったため、目地に残った汚れや欠落によるゴミが不良の原因となっていた。これらを解消するため、攪拌装置を取り替え、希釈用の白水(再利用水)供給に専用ポンプを設置。槽のライニングをタイルからステンレスに替えた。



▲原料貯留槽の攪拌装置を取り替え、内部をステンレスに

3. 取り組みの成果

攪拌装置の羽根の増設と角度の改善により回流を平均化し、個人の技量に拠っていた希釈用の白水供給も定量化できたため、厚さムラが解消。産業用として求められる再現性と均一性を実現できた。貯留槽内部のステンレス化によりゴミの発生を抑え、需要の大きいアート用紙の品質向上が図れた。また、都度の洗浄に要する労力と時間が大幅に削減でき、作業者の負担軽減と効率化につながった。



▲繊維が長く表情豊かな分、和紙はムラになりやすい

事業者から一言 時代とともに新しい表現を

大量に使う時代は終わり、和紙そのものの需要は減っていますが、ネットでの直販や世界60カ国との取引などに新たな販路を広げています。今後はアーティストとのつながりを生かしたギャラリー機能など、地域に資する展開を図りつつ、常に新しさを求め、和紙で時代の息吹を表現し続けたいです。



工場長
中島 茂之氏

富士製紙企業組合

〒779-3401
徳島県吉野川市山川町字川東136
Tel.0883-42-2035 Fax.0883-42-6085
●代表理事 藤森洋一
●設立年月日 昭和27年1月23日
●資本金 3,900万円
●業種 パルプ・紙・紙加工製品製造業
●従業員数 43名
●ホームページ <http://www.awagami.or.jp>



「Hグレード」の強みをフル稼働させて 高品質の鉄骨構造物を安く早く安全に!

建築鉄骨をつくって70年。四国の真ん中という立地条件を活かし、四国内外に優良取引先を広げてきた。

2012年、国土交通大臣認定の鉄骨製作工場Hグレードを取得。品質を武器に、大手商社・ゼネコンからの安定受注を維持しつつ、進化を続ける。雇用を生み、地域社会に資する企業であるために。



鉄骨・鉄鋼材の高性能機械導入による加工速度の改善と 作業簡素化の実現

1. 取り組みの経緯

Hグレード(5段階評価の上から2番目)取得以降増えていた大手商社やスーパーゼネコンからの大口受注を、繁忙期には見送らざるを得ないこともあったため、加工工程毎に高性能機種を導入し効率化を図っていた。しかし、最終工程である溶接接合のスピードが遅く、手待ち時間が発生していたため、顧客ニーズ(品質・納期・価格)に応えていくためにはこの工程の効率化が急務であった。

2. 実施内容

年々、品質への要求が高まる中、溶接ロボット技術による品質の標準化は顧客の大きな安心につながる。また、溶接スピードがアップすることで、工程間に発生していたタイムラグを解消し、工程全体の効率化が図れる。鉄骨の構造上重要な部分の溶接作業について、省力化・高品質化を図るとともに、労働環境の改善にもつながるよう、省スペース型鉄骨コア・仕口溶接システムを導入した。

3. 取り組みの成果

本事業により主要機械設備がすべて高性能機器となり、溶接工程における品質の向上と作業速度のアップ、さらにオペレーションの簡素化と無人化が図れた。各工程間のタイムラグの解消によりフル稼働時の生産能力が約50%増となり、製品のコストダウンが実現。溶接・清掃の自動化が作業員の負担を軽減し、作業環境の安全性も向上した。効率化による処遇改善や賃上げも可能となった。

事業者から一言 お客様と社員のための設備投資

本事業はHグレードに求められる品質を担保する大きな力となりました。社員が気持ちよく仕事してこそ、お客様に喜んでいただける製品となりますから、働きやすい環境になったことも嬉しい。田舎町の鉄工所ですが、社員に年3回ボーナスを支給し続けられるよう、地域にも貢献できるよう、ガンバります。



代表取締役
渡辺 裕士氏



▲安全で働きやすくなった工場には新卒入社女性社員も。



▲鉄骨の構造上重要な部分の溶接を担うロボット



▲これまで手作業だった仕口溶接も自動化が図れた

株式会社渡辺鉄工所

〒779-4806
徳島県三好市井川町西井川3番地
Tel.0883-72-2234 Fax.0883-72-6285
●代表取締役 渡辺 裕士
●設立年月日 昭和40年5月11日
●資本金 1,000万円
●業種 金属製品製造業
●従業員数 28名
●ホームページ <https://watanabeiron-tokushima.co.jp/>

事業の概要

【令和元年度補正・令和2年度補正・令和3年度補正】
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金事業

目的	中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。
補助上限額	<p>「一般型」</p> <p>①通常枠：750万円～1,250万円（補助対象経費の1/2、小規模事業者は2/3）</p> <p>②回復型賃上げ・雇用拡大枠：750万円～1,250万円（補助対象経費の2/3）</p> <p>③デジタル枠：750万円～1,250万円（補助対象経費の2/3）</p> <p>④グリーン枠：1,000万円～2,000万円（補助対象経費の2/3）</p> <p>※従業員規模により補助上限の金額が異なります。</p> <p>「グローバル展開型」3,000万円（補助対象経費の1/2、小規模事業者は2/3）</p>
補助対象経費	<p>「対象経費の区分」</p> <p>①機械装置・システム構築費、②技術導入費、③専門家経費、④運搬費、 ⑤クラウドサービス利用費、⑥原材料費、⑦外注費、⑧知的財産権等関連経費、⑨海外旅費</p>

徳島県中小企業団体中央会

中小企業団体中央会とは

中小企業団体中央会は、中小企業等協同組合法及び中小企業団体の組織に関する法律に基づいて設置された特別認可法人で、各都道府県に一つの中央会と全国中央会により構成されており、本県では昭和30年10月18日に設立されました。

徳島県中小企業団体中央会は、事業協同組合をはじめとした中小企業組合と一般会員で組織され、中小企業組合の設立や運営の支援並びに企業連携による取り組み支援、中小企業施策に関する要望等、中小企業の抱えている多種多様な経営課題の解決に向けて支援を行っています。

こんなとき中央会をご利用ください

- 組合の設立をしたい
- 組合運営などについて相談したい
- 組合の人材育成を行いたい
- 事業継続計画（BCP）を策定したい

などお気軽にご相談ください。

〒770-8550
徳島県徳島市南末広町5番8-8号
(徳島経済産業会館 KIZUNAプラザ3階)
TEL.088-654-4431
FAX.088-625-7059



MONO 2022 REPORT

ものづくり補助事業 成果事例集 [徳島県]

発行日 令和5年2月1日

発行者 徳島県中小企業団体中央会

〒770-8550 徳島県徳島市南末広町5番8-8号

(徳島経済産業会館 KIZUNAプラザ3階)

TEL.088-654-4431 FAX.088-625-7059

ホームページ <http://www.tkc.or.jp/>

MONO REPORT 2022



ものづくり補助事業 成果事例集 [徳島県]

徳島県中小企業団体中央会